

平成 3 1 年 第 2 回

武蔵村山市教育委員会定例会

平成 3 1 年 2 月 7 日

武蔵村山市教育委員会

平成31年第2回武蔵村山市教育委員会定例会

1. 日 時 平成31年2月7日(木)

開会 午前 9時30分

閉会 午前10時39分

2. 場 所 武蔵村山市役所5階 委員会室

3. 出席委員 池谷光二(教育長) 杉原栄子

比留間雅和 潮美和

4. 説明のため出席した者の職氏名

教育部長 田代 篤 学校教育担当部長 佐藤 敏数

教育総務課長 井上 幸三 教育施設担当課長 指田 光春

指導・教育センター担当課長 勝山 朗 学校給食課長 児玉 眞一

文化振興課長 宮沢 聖和 スポーツ振興課長 指田 政明

図書館長 加藤 秀郎 指導主事 今井 一馬

5. 会議に出席した事務局の職員

教育総務課教育政策係 市場 直樹

東出 真実

議事日程

- 1 会期の決定
- 2 前回会議録の承認
- 3 教育長報告
- 4 議案第3号 平成31年度教育予算の申出について
- 5 協議事項 (1) 武蔵村山市第三次学齢期における歯の健康づくり推進プラン(案)
について
(2) 平成30年度武蔵村山市立小・中学校卒業証書授与式の告辞(案)
について
- 6 その他
- 7 議案第4号 校長の任命に係る内申について
- 8 議案第5号 副校長の任命に係る内申について
- 9 議案第6号 統括校長の任命について

◎開会の辞

○池谷教育長 本日の出席委員は全員でございます。

これより平成31年第2回武蔵村山市教育委員会定例会を開会いたします。

◎議事日程の報告

○池谷教育長 本日の議事日程は、あらかじめお手元に配付したとおりでございます。

これに御異議ございませんでしょうか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○池谷教育長 ありがとうございます。

御異議なしと認め、配付のとおり決定いたします。

◎日程第1 会期の決定

○池谷教育長 日程第1、会期の決定についてを議題といたします。

本定例会の会期は、本日限りといたしたいと思えます。

これに御異議ございませんでしょうか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○池谷教育長 ありがとうございます。

御異議なしと認めます。

したがって、会期は本日限りといたします。

◎日程第2 前回会議録の承認

○池谷教育長 日程第2、前回会議録の承認についてを議題といたします。

本件は、これを承認することに御異議ございませんでしょうか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○池谷教育長 ありがとうございます。

御異議なしと認めます。

よって、本件は承認されました。

◎日程第3 教育長報告

○池谷教育長 日程第3、教育長報告を議題といたします。

1点目でございますが、叙位・叙勲被伝達者についてでございます。

資料1を御覧いただきたいと思っております。

内容につきましては、教育総務課長から報告いたします。

井上教育総務課長、お願いします。

○井上教育総務課長 それでは、叙位・叙勲の被伝達者につきまして、御報告をさせていただきます。

高齢者叙勲でございます。飯野稔様は、昭和26年4月に、当時の東京都中野区立中野神明小学校に教諭として奉職して以来、平成3年3月の定年退職までの間、児童の教育に献身的に努力をされました。本市では、昭和55年4月から第七小学校の教頭として、昭和58年4月からは第一小学校の教頭として、そして、昭和61年4月からは第六小学校の校長として勤務し、教育活動の充実に多大な貢献をされました。

また、平成8年10月から平成16年9月までの間、本市の教育委員、教育委員長職務代理者及び教育委員長を歴任され、本市の教育行政の推進に御尽力をいただきました。

なお、現時点では、叙勲伝達式の日程は未定とのことでございます。

以上でございます。

○池谷教育長 ありがとうございます。

続きまして、2点目でございます。

第20回「武蔵村山市教育のつどい」の開催結果についてでございます。

資料2を御覧いただきたいと思っております。

内容につきましては、指導・教育センター担当課長から報告いたします。

勝山指導・教育センター担当課長、お願いします。

○勝山指導・教育センター担当課長 それでは、第20回「武蔵村山市教育のつどい」の開催結果につきまして、御説明いたします。

本年度の教育のつどいは、「共に生きる 障害のある人となない人と～TOKYO2020へ向けて～」という統一テーマのもと、1月19日土曜日にさくらホール大ホールにおいて開催いたしました。

第1部では、7校7人の児童・生徒が個人による意見発表、第2部では、7校35人の児童・生徒がグループによる意見発表を行いました。

障害のある方との関りについて、児童・生徒が主体的に考え、その思いをプレゼンテーションや寸劇、手話等、さまざまな手段で表現いたしました。

第3部では、児童・生徒表彰として、スポーツ・文化活動等で活躍した16の個人・団体の児童・生徒に表彰を行いました。

全体を通して参加者からは、障害のあるなしに関わらず誰もが暮らしやすい環境が大切だと思った。子供たちの思いが込められている発表だった。とても学びのある場であった。子供たちの工夫を凝らした発表が、大変興味深く、また見たいと強く思ったなど、今年度から新たに取り組みましたグループによる発表も含めて多くの賞賛の声をいただいたところでございます。

当日の参加者は、学校関係者、地域関係者を合わせて612名でございました。委員の皆様には当日御多用のところを御参加いただきまして、ありがとうございました。今後も引き続き、地域と学校が一体となって子供たちを育てる環境づくりに努めてまいります。

以上でございます。

○池谷教育長 ありがとうございます。

続きまして、3点目でございます。

第10回中学生「東京駅伝」大会の開催結果についてでございます。

資料3を御覧いただきたいと思えます。

内容につきましては、指導・教育センター担当課長から報告いたします。

勝山指導・教育センター担当課長、お願いします。

○勝山指導・教育センター担当課長 それでは、第10回中学生「東京駅伝」大会の開催結果につきまして、御説明いたします。

本大会は、東京都における体力向上策の一環として、都内の50の地域が中学2年生から選抜した選手から成るチームをつくり、男女別で競い合う駅伝大会で、去る2月3日日曜日、アミノバイタルフィールド、都立武蔵野の森公園特設周回コースで開催されました。

武蔵村山市からは、選考会を経て選抜された男女各21名の代表選手が、男子が17区間、42.195キロメートル、女子が16区間、30キロメートルを学校や部活などの垣根を越えて、たすきをつなぎました。

結果につきましては、男子の部は第46位、女子の部は第42位、総合46位という結果でございましたが、過去歴代の記録と比較いたしますと、男子、女子、総合全て3番目に速い記録でした。練習会を含め選手たちが積み重ねた結果があらわれたものと考えてございます。

今年度は、大会会場の変更に伴い、教育委員の皆様にご覧いただくことはできませんでしたが、多くの方に応援をいただき、選手は全力で走り切ることができました。本当にありがとうございました。

以上でございます。

○池谷教育長 続きまして、4点目でございます。

平成30年度「児童・生徒の学力向上を図るための調査」の調査結果及び授業改善のポイントについてでございます。

資料4を御覧いただきたいと思います。

内容につきましては、指導主事から報告いたします。

今井指導主事、お願いします。

○今井指導主事 それでは、平成30年度「児童・生徒の学力向上を図るための調査」の調査結果及び授業改善のポイントについて、御説明いたします。

まずは、1ページを御覧ください。

同調査は、小学校第5学年、中学校第2学年を対象に、平成30年7月5日に実施いたしました。

対象教科は、小学校では国語、社会、算数、理科の4教科。中学校では国語、社会、数学、理科、外国語の5教科となっております。

続きまして、4ページを御覧ください。

こちらには、小学校第5学年の各教科の合計の平均正答率、教科の内容の平均正答率、東京都の平均正答率を100とした際の本市の充足率を示しております。

5ページには、各教科の内容の平均正答率をグラフで示しております。

続いて、6ページを御覧ください。

こちらは、各教科の読み解く力について示しております。読み解く力は、特定の問題に設定されており、必要な情報を「取り出す力」、比較・関連づけて「読み取る力」、意図や背景、理由を理解、解釈、推論して「解決する力」の3つの観点で構成されております。

7ページには各教科の正答数分布を示しております。

ここまでの結果で、都に対して大きな開きのある教科は、算数となります。

8ページ以降には、各問題の正答率と分析について示しておりますが、ここでは算数の課題傾向について御説明申し上げます。

12ページ、13ページをお開きください。

算数では、数学的な考え方や、数量や図形についての知識・理解において、都の平均正答率を18ポイント以上下回っております。

典型的な問題例としましては、13ページの下段にありますように、面積を問う問題における、「1 a が10m×10m」であることへの理解、複合図形の面積の求め方、二次元表の作成など考え方、知識理解の面で課題が見られます。

これまでの東京ベーシックドリル等の活用による基礎・基本の定着と並行して、それらを活用した問題についても授業で確実にやっていく必要がございます。引き続き指導してまいります。

続いて、中学校の結果について御説明申し上げます。18ページをお開きください。

小学校と同様の形式で、以降にお示ししております。

19ページの各教科の内容の平均正答率では、国語、社会、理科において、都の平均に迫る観点も見られ、学習内容の定着が伺えます。

続いて20ページ、21ページをお開きください。

21ページの正答数分布において、下位層に偏りが見られる教科は、数学と英語となります。22ページ以降には、各問題の正答率と分析について示しておりますが、ここではその数学と英語について御説明申し上げます。

26ページ、27ページをお開きください。

先ほどの小学校、算数と同様の考え方、知識・理解に加え、技能についても都平均を12ポイント以上下回っております。その中でも顕著な課題として浮かび上がっておりますのが、文字を使った立式です。27ページの下段にお示ししておりますが、具体的な数字を扱う立式と比較して、文字を使った立式は、正答率が大きく下がっております。さまざまな数字を当てはめることができる文字に対して、大きな抵抗感があることが伺えます。

小学校算数においても、四角や文字を使った立式がありますので、小学校段階から文字の利便性を伝え、抵抗感がない状態で中学校に接続していく必要がございます。

続いて、30ページ、31ページをお開きください。

英語につきましては、英文で書くことに課題が見られます。31ページの下段にお示しておりますが、伝えたい内容を正確な英文で書いたり、質問に対して英文で答えたりする問題の正答率が10%台となっております。答えが複数存在するものに対して書きなれていないことが状況として浮かび上がってきます。

話すこと、聞くことに加えて、そのやりとりについて書き表すことも重点的に指導してま

います。

本市は、今年度からこれまでの学力向上推進委員会を発展・拡充させ、調査研究部会、授業改善部会、反復学習推進部会の3つの部会に分かれて、学力向上に向けた取組を推進しております。今回の学力調査の結果と改善のポイントも同委員会で共有し、授業改善や反復学習の重点等に活用してまいります。

また、本報告書の内容については、教育委員会ホームページにもアップし、広く市民にも公開をいたします。

今後も児童・生徒の学力向上に資する指導の充実が図られるよう、教育委員会として指導、助言をしてまいります。

以上でございます。

○池谷教育長 ありがとうございます。

続きまして、5点目でございます。

第21回生涯学習フェスティバルの開催についてでございます。

資料5を御覧いただきたいと思えます。

内容につきましては、文化振興課長から報告いたします。

宮沢文化振興課長、お願いします。

○宮沢文化振興課長 それでは、第21回生涯学習フェスティバルの開催について、報告いたします。

世代間交流の場として幼児から高齢者までが楽しく体験、学習することを目的に、3月3日（日曜日）、午前10時から午後3時まで、さくらホール及び市役所市民駐車場を使用し、生涯学習フェスティバルを開催いたします。

内容につきましては、パラリンピック種目のボッチャの体験や、袋にキャンディーなどお菓子を詰めてネックレス状にするキャンディーレイの作り方などの各種教室や体験学習の場を設ける団体が16団体出展いたします。

また、和太鼓の演奏や合唱などのイベント、焼きそばやフランクフルトの模擬店の出店のほか、天気がよければでございますが、モンゴル国の遊牧民の移動式住居「ゲル」というものがございます。その「ゲル」の小さいものではございますが、その組み立てと展示を予定しております。

教育長をはじめ教育委員会委員の皆様には、開会式に出席いただきますようよろしくお願いいたします。

以上でございます。

○池谷教育長 ありがとうございます。

続きまして、6点目でございます。

平成30年度少年少女スポーツ大会、第16回少年少女ドッジボール大会の開催結果についてでございます。

資料6を御覧いただきたいと思います。

内容につきましては、スポーツ振興課長から報告いたします。

指田スポーツ振興課長、お願いします。

○指田スポーツ振興課長 それでは、平成30年度少年少女スポーツ大会、第16回少年少女ドッジボール大会の開催結果について、御報告させていただきます。

本大会につきましては、1月26日土曜日、27日日曜日に、総合体育館第一体育室におきまして、市内全小学校から67チーム、873人の児童に参加をいただき、また多くの観戦者の中、盛大に開催することができました。

大会の成績は、資料にお示しのとおりでございますが、各部の優勝チームを申し上げますと、小学校3・4年生男子の部が二小MMDCドラゴンチーム、同じく女子の部が二小MMDCファイトチーム、小学校5・6年生男子の部が二小MMDCホワイトチーム、同じく女子の部が八小MM∞girlsチームという結果でございました。

なお、準優勝以下の成績につきましては、資料にお示しのとおりでございます。

各学校の御指導により、参加選手の動きも大変きびきびとしており、円滑な大会運営ができたところでございます。

教育長並びに教育委員の皆様におかれましては、御多用の中、開会式・閉会式等に御出席をいただき、ありがとうございました。お礼申し上げます。

以上でございます。

○池谷教育長 ありがとうございます。

教育長報告は以上でございます。

7点目のその他でございますが、特に報告等はございません。

教育長報告に対する質疑等があればお受けいたします。

いかがでしょうか。

杉原職務代理、お願いいたします。

○杉原職務代理者 「教育のつどい」についてです。

先ほど御説明がありましたけれども、テーマが「障害のある人とない人と～TOKYO2020へ向けて～」ということで取り組まれ、子供たちの意見発表を聞き、大変感動いたしました。

自分の見方とか考え方を非常にしっかり述べながら、しかもコンピューターを活用したプレゼンテーションとか、寸劇とか、本当に表現方法も多様で、子供たちがそういう力が本当に育っているのだなというふうに感じました。また、グループ発表が今年からということで、それも功を奏して非常に子供たちが工夫している様子が見えて、発表した子供たちも、また聞いた地域の方々も誇りに思われたのではないかと思います。よかったですと感謝申し上げます。

以上です。

○池谷教育長 ありがとうございます。

そのほかございますでしょうか。

よろしいでしょうか。

杉原職務代理、お願いいたします。

○杉原職務代理者 続きまして、学力調査についてですが、この子供たちがどのくらい学力がついているかというのは、平均点だけでははかれない面があるのですが、平均点が向上していくというのは、武蔵村山全体の学力の向上を表していると思います。

そのような点でいえば、小学校より中学校の子供たちのほうが、よりいい成績をおさめるようになっているということ、また、中学校の数学と理科が、都に迫るような状況ということですばらしいと思います。注目に値すると思います。

本市の場合は、小学校と中学校の連携というのが非常によくできていますので、中学校の先生から見て小学校の頃にこういうことを大事にしてほしい。また小学校のほうからは、こういうことを努力してきたけど、その結果はどうでしょうかというような、お互いの交流があっていいかと思います。

この調査を通してでもいいですし、子供たちの状況について話し合い、さまざまな学力の向上に向けての取組をぜひお願いいたしたいと思います。

以上です。

○池谷教育長 ありがとうございます。

そのほかいかがでしょうか。よろしいでしょうか。

(発言する者なし)

○池谷教育長 では、これもちまして教育長報告を終わります。

◎日程第4 議案第3号 平成31年度教育予算の申出について

○池谷教育長 日程第4、議案第3号 平成31年度教育予算の申出についてを議題といたします。

教育総務課長より、議案の朗読をいたさせます。

井上教育総務課長、お願いします。

○井上教育総務課長 それでは、議案を朗読いたします。

議案第3号 平成31年度教育予算の申出について。

平成31年度教育予算について、別紙のとおり申出をするため、教育委員会の議決を求めます。

平成31年2月7日、武蔵村山市教育委員会教育長。

別紙についての朗読は省略させていただきます。

以上でございます。

○池谷教育長 ありがとうございます。

それでは、議案第3号の提案理由を説明させていただきます。

平成31年度教育予算について、平成31年第1回市議会定例会に上程するに当たり、当該予算に係る申出をする必要があるため、本案を提出するものでございます。

なお、内容につきましては、教育部長から説明いたさせますので、よろしく御審議の上、御決定くださるようお願いいたします。

田代教育部長、お願いします。

○田代教育部長 それでは、議案第3号 平成31年度教育予算の申出につきまして、御説明申し上げます。

平成30年10月5日付で市長から、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第29条の規定に基づき意見を求められましたので、申し出るものでございます。

1ページを御覧ください。

平成31年度教育予算、1、歳入でございます。

13款使用料及び手数料は1,263万8,000円で、前年度比16.6%の減となっております。これは文教施設、学校体育施設の使用料を平成30年度の実績等により積算し直したことによる減でございます。

次に、14款国庫支出金は707万1,000円で、前年度比95.6%の減となっております。減額の主な理由といたしましては、各小・中学校の学校施設整備に係る国庫補助対象経費が減した

ことによるものでございます。

次に、15款都支出金6,466万2,000円で、前年度比33%の減となっております。減額の主な理由といたしましては、こちらも小・中学校の学校施設整備に係る都補助対象経費が減したことによるものでございます。

次に、16款財産収入は8万7,000円で、前年度実績を勘案し、5,000円減額となっております。

次に、18款繰入金につきましては1,432万円で、前年度と同額としております。

次に、20款諸収入は2,293万2,000円で、前年度比32.7%の増となっております。増額の主な理由といたしましては、5項3目雑入に、多摩・島しょ広域連携活動事業に係る助成金を計上したことによる増でございます。

このことにより平成31年度歳入の合計は1億2,171万円となり、前年度比では59.7%の減となっております。

続きまして、2ページを御覧ください。

2、歳出でございます。

2款1項総務管理費は4,376万5,000円で、前年度比0.8%の減となっております。主な減額の理由といたしましては、6目財産管理費における校務用パソコンの廃棄処分費の計上がないことから減額になるものでございます。

次に、教育費でございます。

9款教育費全体では21億4,454万5,000円で、前年度比12.8%の減となっております。主な減額の理由といたしましては、各小・中学校の施設整備事業費の減によるものでございます。

1項教育総務費は5億1,264万2,000円で、前年度比5.4%の増となっております。主な増額の理由といたしましては、3目教育指導費における学校マネジメント強化モデル事業及びスクール・サポート・スタッフ配置事業経費を、当初予算から計上したことによるもの、及び5目教育援助費の改元に伴うシステム改修などによるものでございます。

次に、2項小学校費は3億5,910万9,000円で、前年度比50%の減となっております。減額の理由といたしましては、1目学校管理費における小・中学校の施設整備事業費の減によるものでございます。

次に、3項中学校費は4億8,797万5,000円で、前年度比5.5%の減となっております。減額の理由といたしましては、1目学校管理費における小・中学校の施設整備事業費の減によるものでございます。

次に、5項社会教育費は3億2,128万2,000円で、前年度比4.1%の増となっております。増の主な理由といたしましては、1目社会教育総務費において、地域未来塾事業費を新規に計上するとともに、3目図書館費において、三ツ木地区図書館、大南地区図書館の絵本コーナーの修繕に係る経費の計上により増となっております。

なお、6目市民会館費については、市民会館の空調工事等が完了したことにより減額となっております。

次に、6項保健体育費は4億6,353万7,000円で、前年度比7.5%の増となっております。増額の主な理由につきましては、1目保健体育総務費の東久留米市との合同実施によるハンドボールフェスティバル事業経費を計上したものの、2目体育施設費の総合運動公園運動場、第1運動場の防球ネット等の増設に係る経費、3目総合体育館費の総合体育館西側の雨水対策工事経費について、新規に計上したことにより増となっております。

なお、5目学校給食センター費は、施設整備の修繕等が完了したことから減となっております。

以上、2款総務費と9款教育費の歳出合計は21億8,831万円となり、前年度比では12.6%の減となっております。

以上、歳入歳出について予算の申出を行うものでございます。

なお、今後、市長部局と予算の査定等がありますので、歳入歳出額が増減する場合もございますので、御了承願います。

また、歳入歳出の差異でございますが、市長部局との関係によるものでございます。

続きまして、3ページを御覧ください。債務負担行為でございます。

長期契約に係る事業として、ここに掲げる2事業について、債務負担行為として予算計上しておりますので、よろしく願いいたします。

続きまして、4ページを御覧ください。

ここからは、平成31年度予算に係る主な事業についてでございます。

教育予算である4ページの総務管理費から保健体育費、14ページまでについて主な事業を掲載させていただいております。

基本的には従前の事業の継続となっておりますが、ここでは新規等の事業について説明させていただきます。

8ページを御覧ください。

小学校費です。

4、施設整備事業につきましては、村山学園第四小学校において、①屋上防水改修工事、及び②小荷物運搬昇降機改修事業として、工事の実施をいたします。また、③放送設備改修事業としては、実施設計を第二小学校、工事を第三小学校において実施するとともに、④自家用電気工作物改修事業として、第一小学校及び第十小学校の実実施設計を行い、教育環境の整備を図ってまいります。

続きまして、9ページを御覧ください。

中学校費です。

こちらも4、施設整備事業費として、村山学園第四小学校と同様に、村山学園第二中学校の屋上防水工事、及び小荷物運搬昇降機改修工事として工事を実施してまいります。また、③消火設備改修工事として、災害時における児童等の安全を図るため、第三中学校において消火栓設備配管改修工事を実施するとともに、④校舎窓枠等建具改修工事として、第五中学校の実実施設計を行ってまいります。

続きまして、10ページを御覧ください。

社会教育費です。

学習習慣が十分に身につけていない児童・生徒を対象とする学習支援を実施するための経費として、7、地域未来塾事業を実施していくこととしております。

以上、平成31年度の新規に実施する事業についての説明でございまして、大変雑駁ではございますが、平成31年度の主な事業の説明とさせていただきます。よろしくお願いたします。

○池谷教育長 ありがとうございます。

では、これより質疑に入ります。

いかがでしょうか。皆さん、特によろしいでしょうか。

杉原職務代理、お願いします。

○杉原職務代理者 10ページの今おっしゃった地域未来塾事業経費というのが新規事業として、学習成果が身につけていない子供たちの学習支援ということですが、これは、本当に素晴らしいと思います。

というのは、授業の中だけでどうしても消化できない子供たちのために、どのように支援していくかというのは課題だと思うのですが、これは、例えば具体的には何か案としてあるのでしょうか。まだ事業として、具体化はこれからなののでしょうか。

○池谷教育長 宮沢文化振興課長、お願いします。

○宮沢文化振興課長 具体的な方法につきましては、これから学校と協議しながら進めていく予定でございます。勉強が遅れている子とか学習が身についていない子を対象としておりますので、学校のほうで対象者を選んでいただいて、講師の先生も学校の地域にお住まいの教員のOBですとか、教員を目指す学生さんをボランティアとして指導をお願いするというような、そういった形で事業を進めていく予定でございます。

以上でございます。

○池谷教育長 杉原職務代理、お願いします。

○杉原職務代理者 以前、ボランティアで放課後、教えていたことがあるという方が、この前、あの子供たちはどのように育ったかなとおっしゃっていました。そういう点で、地域には高齢者の方で、すばらしい力を持った方がたくさんいらっしゃいますので、地域を活用したこのような事業は子供にとっても、地域にとってもいい事業だと思います。よろしくをお願いします。

○池谷教育長 ありがとうございます。

そのほかございますでしょうか。

よろしいでしょうか。

(発言する者なし)

○池谷教育長 これをもって質疑を終わります。

これより討論に入ります。

いかがでしょうか。よろしいでしょうか。

(発言する者なし)

○池谷教育長 では、討論なしと認めます。

これをもって討論を終わります。

これより、議案第3号 平成31年度教育予算の申出についてを採決いたします。

本案は原案のとおり決することに賛成の方の挙手を求めます。

(賛成者挙手)

○池谷教育長 ありがとうございます。

挙手全員であります。

よって、本案は原案のとおり決しました。

ありがとうございました。

◎日程第5 協議事項

○池谷教育長 続きまして、日程第5、協議事項を議題といたします。

委員からの協議事項をお受けいたします。

特にございませんでしょうか。

(発言する者なし)

○池谷教育長 では、事務局からの協議事項をお受けいたします。

井上教育総務課長、お願いします。

○井上教育総務課長 それでは事務局から、武蔵村山市第三次学齢期における歯の健康づくり推進プラン（案）について、及び平成30年度武蔵村山市立小・中学校卒業証書授与式の告辞（案）についての2点について、御協議をお願い申し上げます。

○池谷教育長 それでは、協議事項の1点目、武蔵村山市第三次学齢期における歯の健康づくり推進プラン（案）についての説明を求めます。

田代教育部長、お願いいたします。

○田代教育部長 お手元に御配付させていただいております第三次学齢期における歯の健康づくり推進プラン（案）でございますが、本市の12歳児の1人当たりの平均虫歯数は、平成29年度では東京都の平均0.75本に対しまして、0.9本となっております。第一次の推進プランを作成した平成25年度における本市の平均虫歯数は、1.41本であったことから、第一次及び第二次の推進プランに基づく取組により一定の効果があったものと思われま

しかし、歯及び口腔の健康づくりが引き続き大きな課題となっていることは明らかでございます。そのため第二次推進プランの計画期間の満了に伴い、新たに第三次学齢期における歯の健康づくり推進プランを策定し、引き続き積極的に事業を推進していきたいと考えております。

なお、推進プランの内容につきましては、教育総務課長から御説明申し上げますので、よろしくをお願いいたします。

○池谷教育長 井上教育総務課長、お願いいたします。

○井上教育総務課長 それでは、武蔵村山市第三次学齢期における歯の健康づくり推進プラン（案）について御説明を申し上げます。

協議事項資料1を御覧いただきたいと思っております。

本推進プラン（案）につきましては、第二次の推進プランの計画期間が平成30年度をもって満了することから、現在における課題等を改めて精査し、今後5年間において取り組むべ

き施策等を取りまとめたものでございます。

表紙をおめくりいただきまして、目次を御覧いただきたいと思ひます。

本プランの構成は、第1章、プランの策定の趣旨、第2章、プラン（平成28年度～平成30年度）の取組について、第3章、現状、課題及び施策、第4章、プランの計画期間、推進体制、及び資料編の構成となっております。

1枚おめくりいただきまして1ページを御覧いただきたいと思ひます。

第1章、プランの策定の趣旨でございます。ここでは、プラン策定の背景と目的、ページをおめくりいただきまして、プランの目標を明らかにしております。プラン全体の目標につきましては、第二次推進プランと同様に「むし歯ゼロ・つよい歯・しろい歯・げんきな歯」と設定しております。

次に、3ページを御覧いただきたいと思ひます。第2章、プラン（平成28年度～平成30年度）の取組についてでございます。

平成30年度までの推進プランについての評価及び取組状況を記載しております。

続きまして、5ページを御覧いただきたいと思ひます。第3章、現状、課題及び施策でございます。5ページには小学生及び中学生の特徴を、6ページ以降には現状と課題を記載しております。

続きまして、10ページを御覧いただきたいと思ひます。ページの中段以降でございますが、現状を踏まえた数値目標を新たに設定しております。

次に、11ページ及び12ページを御覧いただきたいと思ひます。取り組むべき施策を、むし歯及び歯周病の予防対策、児童・生徒及び保護者に対する歯科疾患に関する知識の啓発、及び歯科検診後の効果的かつ継続的な事後措置の推進の3つの分野に分けて掲載しております。

続きまして、13ページ、14ページでございますが、13ページ、14ページには、重点的に取り組むべき施策として、給食後の歯磨きの実施、フッ化物洗口事業、染め出しによるブラッシング指導、及び未受診者に対する受診勧奨の4事業を挙げております。

次に、15ページでございますが、第4章として、プランの計画期間、推進体制を記載しております。

プランの計画期間についてでございますが、第一次及び第二次の推進プランにおきましては、計画の期間を3年としておりました。しかし、3年では実施した事業の効果をはかりにくかったことを踏まえまして、第三次推進プランにおいては、計画の期間を5年間とし、より長期的に事業を実施し、その効果を検証していくことといたしました。

17ページからは資料編となっておりますので、後ほど御確認いただければと思います。

なお、本日御協議いただくとともに、本日の教育委員会の後に御意見、お気づきの点等がございましたら、2月26日火曜日までに教育総務課に御連絡をお願いしたいと思います。

本案につきましては、今後、教育委員の皆様方からいただいた御意見等を踏まえまして、また事務局で必要な修正を加え、次回の教育委員会に議案として御提出させていただく予定でございます。どうぞよろしく願いいたします。

説明は以上でございます。

○池谷教育長 ありがとうございます。

それでは、協議事項の2点目、平成30年度武蔵村山市立小・中学校卒業証書授与式の告辞(案)についての説明を求めます。

勝山指導・教育センター担当課長、お願いいたします。

○勝山指導・教育センター担当課長 平成31年3月22日金曜日に市立小学校、同3月19日火曜日に市立中学校の卒業証書授与式が挙行されます。つきましては、同卒業証書授与式の教育委員会告辞について、別紙のとおり提案させていただきます。

協議事項資料2を御覧ください。

小学校の告辞につきましては、野球の大谷翔平選手の活躍を引用しました。変化の激しい時代の中でも挑戦し続ける気持ちを持ち続けてほしい。そして、その挑戦の中で悩んだときは、一人で悩むことなく助けを求め、また、悩んでいる人には進んで声をかけ、お互いに助け合える人に成長してほしいという願いを込めてございます。

おめくりいただきまして、中学校の告辞でございます。中学校の告辞につきましては、スーパーボランティア、尾島春夫さんの活躍を引用しました。これまでともに高め合ってきた仲間、これから出会う多くの方々、そして何よりも自分自身の命を大切に、人のため、社会のために輝く人に成長してほしいとの願いを込めてございます。

よろしく御協議を賜りたく、お願い申し上げます。

以上でございます。

○池谷教育長 では、これより協議事項に対して御意見、質疑等あればお受けいたします。

いかがでしょうか。よろしいでしょうか。

潮委員、お願いいたします。

○潮委員 むし歯ゼロプランということで、資料をいただきました。口の中の健康ということは、そこからおいしい食事をとるということにつながると思います。さらには、そこから健

康な体をつくるということにつながっていくと思います。武蔵村山市として、歯磨きなどの取組をしていることはとてもよいことだと思います。

どの学校もいろいろな取組をしていますけれども、4年生だけで実施している学校があったりというところ、資料の26ページの第二小学校、また第三小学校村山学園で、4年生で実施していたり、3年生で実施していたりということがございますが、その学年でという何か理由があれば教えていただければと思います。

○池谷教育長 井上教育総務課長、お願いします。

○井上教育総務課長 それでは、お答えいたします。

3年生、4年生、中学年での実施が多いということでございますが、申し訳ございません、私のほうも医学的な、専門的な知識はないので、その年代における子供たちの歯の状況がどうなのか。その時期にやるのが一番いいのかというところについては、明確にお答えはできないところでございますが、実施していただいている学校におきましては、学校歯科医の先生、また養護教諭の先生が連携しながら事業を実施しているところがございます。

染め出し事業、フッ化物洗口、水場の設備的などところもございまして、そういうところも勘案して、全学年というところがなかなか難しい状況はございますが、養護教諭の先生、学校歯科医の先生方の御意見を踏まえながら、各学校で実施しているという状況でございます。

以上でございます。

○池谷教育長 よろしいですか。

○潮委員 3、4年生という歯の生えかわりがある年代でありますので、その辺りを踏まえていたのかなという部分も少々あったのですが、いずれにしましても、とてもよい取組だと思いますので、このまま継続していただけたらなと思っております。お願いいたします。

○池谷教育長 ありがとうございます。

そのほかいかがでしょうか。

杉原職務代理、お願いいたします。

○杉原職務代理者 20ページですが、武蔵村山市の12歳児のときの虫歯の推移ということで、武蔵村山市の平成16年と比べると、2.01本あったものが、29年には0.9本になっており、これは本当にいい傾向だと思います。いろいろな取組をなされたのが功を奏していると思います。

また、この冊子ですけれども、それぞれの歯について、小学校、中学校の特徴とか、それから、虫歯がどのようにしてなるのかとかいうことを、非常にわかりやすく書かれていて、子供にとっても親にとっても役に立つのではないかと思います。

そのような点でいえば、冊子だけでおしまいにするのではなくて、これをいかに市民の方や、保護者や子供にPRしていくかということが非常に大切だと思うのですが、もっと映像化したものをどこかでPRするとか、そのようにすれば、小さい子供も理解できるかなと思います。そういうPRのお力添えをぜひいただきたいと思います。何か冊子以外にそういう試案はありますでしょうか。これからでしょうか。

○池谷教育長 井上教育総務課長、お願いいたします。

○井上教育総務課長 それでは、お答えいたします。

まず委員のほうから、身に余るお言葉をいただきまして、大変ありがとうございます。

私どものほうでも歯科医師会の先生方とは連携することがよくございます。その中で、歯科医師会の先生方から言われるのが、やはり普及啓発、歯磨き、歯の健康づくりがいかに大切なのかというのを啓発していく必要があるのではないかと。その中で今、委員の御指摘のとおり、この冊子を活用するというのの一つでございますが、歯科医師会さんと連携した中で、一つこういうものを来年からやっていこうというのが、ちょっとわかりにくくて大変恐縮なのですが、32ページ、33ページでございます。

こちらにつきましては、32ページ、33ページが、表・裏の下敷きというイメージで今おるのですが、こういうものを、例えば新小学1年生に配付して、虫歯について考えていただく機会の一つとしていただくというようなことは、現在考えております。その他にも委員から御指摘いただいたとおり普及啓発、何ができるか工夫はしてまいりたいというふうに考えます。

以上でございます。

○杉原職務代理者 ありがとうございます。よろしくをお願いいたします。

○池谷教育長 ありがとうございます。

そのほかよろしいでしょうか。

(発言する者なし)

○池谷教育長 では、これもちまして協議事項を終わります。

◎日程第6 その他

○池谷教育長 日程第6、その他に入ります。

委員の皆様からの御報告等の御発言があればお受けいたします。

いかがでしょうか。特によろしいでしょうか。

(発言する者なし)

○池谷教育長 ありがとうございます。

では、事務局からの報告等の御発言があればお受けいたします。

井上教育総務課長。

○井上教育総務課長 事務局からはございません。

以上でございます。

○池谷教育長 ありがとうございます。

では、これをもってその他を終わります。

○池谷教育長 次に、日程第7、議案第4号、日程第8、議案第5号及び日程第9、議案第6号の審議といたします。

この3議案は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第14条第7項ただし書の規定に基づき、秘密会で審議したいと思います。

これに御異議ございませんでしょうか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○池谷教育長 御異議なしと認めます。

よって、秘密会とすることに決しました。

ただいまから会議を秘密会といたします。

ここで関係者以外の職員が退席いたしますので、暫時休憩いたします。

午前10時24分休憩

午前10時25分再開

○池谷教育長 休憩前に引き続き会議を開きます。

◎日程第7 議案第4号 校長の任命に係る内申について

(議案第4号は人事案件のため、会議録は非公開)

◎日程第8 議案第5号 副校長の任命に係る内申について

(議案第5号は人事案件のため、会議録は非公開)

◎日程第9 議案第6号 統括校長の任命について

(議案第6号は人事案件のため、会議録は非公開)

◎閉会の辞

○池谷教育長 以上で、本定例会に付議されました案件の審議は全部終了いたしました。

これをもって平成31年第2回教育委員会定例会を閉会いたします。

長時間ありがとうございました。

午前10時39分閉会